

議 事 録

会議名	釧路市障がい者自立支援協議会 第3回教育・療育部会	
事務局	釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター	
開催日時	令和2年2月17日(月) 15:00～16:00	
開催場所	釧路市役所 防災庁舎5階会議室A	
出席者	委員	10名
	その他	なし
	傍聴者	なし
	事務局	釧路市障がい福祉課(森脇、辻野、山根) 釧路市障がい者基幹相談支援センター(金子、布田)
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会 教育・療育部会長 井川 哲雄</p> <p>3. 議事</p> <p> (1) 教育・療育部会と放課後等デイサービスのつどい 合同部会の振り返り</p> <p> (2) 今年度の活動及び来年度の活動予定(案)について</p> <p> (3) その他</p> <p>4. 閉会</p>	

議 事 内 容

【議事】

(1)教育・療育部会と放課後等デイサービスのつどい 合同部会の振り返り

○事務局より合同部会の開催結果について説明。

《主な意見》

- ・ライフステージについて学校での取り組みについても理解できるような内容で良かった。
- ・思春期の性について放デイの悩みとして発表があったが、福祉と教育との関わりだけでなく、保健分野（保健所保健師）としてもできることがあれば関わっていききたい。
- ・合同部会ではグループワークの発言の時間が短かった。意見を共有する余裕がないため、もっと時間をとってほしい。
- ・ライフステージ毎のつながりについて意識することができたことから、色々なアプローチへつながることができるようになってきた。
- ・困り感や課題、連携について見えてきたと思う。
- ・つながることや接点を持てることによって事業所内とは違う別な視点を持てるようになってきており、内容が深まってきていると思う。内容によって色々な職種の方が、つどいに参加してもらうことで、子どもの療育などの視点を磨いていく。
- ・児童と学校との関わりについては、とても重要であるため、深めていくことが必要である。

(2)今年度の活動及び来年度の活動予定(案)について

○事務局より今年度の活動報告及び来年度の活動予定について説明。

《主な意見》

- ・最近では児童虐待についての話題が多くある。虐待している自覚はないが、言葉の暴力（虐待）を行っていることになるという認識がない場合が見られ、注意喚起が必要である。また、発達障害の性教育については今までも色々な研修会などを開いており、その内容をいかした方が良い。
- ・虐待については、相談事業所等との連携が必要であるし、ネグレクトや家族関係についても大きく影響がある。
- ・児童虐待については、色々な連携が必要である。
- ・トライアングルプロジェクトについて、具体的な所がわからないこと、地域とどう連携すればいいのかわからないと小中学校から話を聞いており、次年度の課題である。
- ・放課後等デイサービスについては、子どものアセスメントの意識や理解の底上げが必要。子育ての経験や自分の子育てのやり方になってしまっている場合もあるため質の向上が必要である。
- ・放課後等デイサービスとどのような連携をしていくのか、学校との連携など幅広く考えていくことが必要。
- ・教育支援課では放課後等デイサービスへの理解を深めてもらうため、ブロック会議で情報発信を行ったり、その中で課題や好実践例を吸い上げている。上手くいっているところと上手くいっていないところがあることから、トライアングルプロジェクトとして、学校側から放課後等デイサービスとどのように、どの程度連携していけばいいのかなど課題が大きく、学校と放課後等デイサービス双方の理解を重ねて促していくことが必要である。

議 事 内 容

《役員改選について》

- ・ 部会長より、放課後等デイサービス事業所の影響が大きくなってきたことから、放課後等デイサービス事業所も部会員としてはどうかとの意見あり、部会員からも異議はなかった。部会長及び事務局一任となった。

以上